

## 【エクアドル内政：2017年5月】

### 1. 内政

#### (1) モレノ新大統領の就任

5月24日、エクアドル国会本会議場において、モレノ新大統領の就任式が行われた（本就任式関連は、別紙参照。）。

#### (2) モレノ大統領による閣僚任命

5月24日付大統領令第8号にて閣僚を任命し、5月25日付大統領令第11号にて社会福祉計画庁の新設を決定した（同長官の任命は未了。）。なお、以下アの省庁は廃止され、新たに以下イの省庁が新設された。

上記大統領令に基づき作成した閣僚リストについては、別添参照。

##### ア 廃止された省庁

- ① 全ての調整省（6省）（職員数：750名、予算：4,280万ドル）
- ② 国家行政庁
- ③ 「良き生活」社会実現のための大統領イニシアティブ庁

##### イ 新設・機能が移管された省庁

- ① 旧経済政策調整省の機能を財務省に統合し、経済・財務省となった。
- ② 旧農牧水産漁業省が農牧省、水産漁業省に分離。
- ③ 旧国家行政庁の機能を、大統領府、国家企画開発庁、通信・情報社会省、及び労働省に移管。
- ④ 旧社会開発調整省の機能を社会福祉計画(Plan “ Toda una Vida” )」庁に移管する。

#### (3) 与党国家同盟（AP）の幹部人事

5月1日、与党国家同盟（AP）がマナビ県ポルトビエホ市で党大会を開催し、以下の党幹部人事を行った。

なお、コレア前大統領は終身名誉党首(Presidente Honorario Vitalicio)に任命された。

- ① AP 党首(Presidente)  
レニン・モレノ氏（次期大統領）
- ② AP 第1副党首(Primer Vicepresidente)  
ホルヘ・グラス氏（副大統領）
- ③ AP 第2副党首(Segundo Vicepresidente)  
リカルド・パティーニョ氏（国防大臣（当時））
- ④ AP 幹事長(Secretaria Ejecutiva)

ガブリエラ・リバデネイラ氏（国会議長（当時））

#### （４）新国会開会と執行部の選出

ア 新国会が１４日に開会。以下の正副議長（計三名）、右を含む国会運営理事会（CAL）理事（計七名）が選出された。

（ア）議長

ホセ・セラーノ議員（与党国家同盟（AP）。全国区。）

（イ）第一副議長

ビビアナ・ポニージャ議員（AP。全国区。）

（ウ）第二副議長

カルロス・バーグマン議員（AP。マナビ県。）

（エ）上記を除く４名のCAL理事

① ソレダ・ブエンディア議員（AP。ピチンチャ県。）

② ベロニカ・アリアス議員（APと地方政党の連立（以下2.（2））。ロハ県。）

③ ルイス・フェルナンド・トーレス議員（キリスト教社会党（PSC）。トゥングラウア県。）

④ パトリシオ・ドノソ議員（CREO-SUMA。ピチンチャ県選出）（この枠をめぐり、14日にはCREO-SUMAよりギジェルモ・セリ氏（全国区選出）、小党の連合会派「国家統合運動」（左派民主党（ID）、愛国社会党（PSP）、フェルサ・エクアドル党、パチャクティク党、地方諸政党）よりハイメ・オリボ（パチャクティク党所属、コトパクス県）が、候補者として擁立されたが、両者はいずれも過半数の賛成を得られなかったため、右に関する議決は、17日に延期となった。同日、ドノソ議員が選出された。）

イ 14日の国会開会式にて、セラーノ新国会議長は、新国会の運営方針・重点について、以下のとおり述べた。

- （１）門戸の開かれた国会
- （２）政治的門戸開放
- （３）監査の強化
- （４）選挙期間中の公約及び市民の要求と一貫性のある立法日程
- （５）統治能力を確保するための政治的団結強化
- （６）国際関係の強化
- （７）効率の良い行政管理運営
- （８）明確且つ直接的な行政コミュニケーション
- （９）集団的リーダーシップ

## **(5) 新検事総長の就任**

11日、国会は、カルロス・バカ・マンチェノ検事総長を新たに任命した（任期は6年）。バカ検事総長は、人権のために闘い、汚職問題に厳しく臨むとの抱負を述べた。

## **2. 外交**

### **(1) コレア大統領のキューバ訪問**

コレア大統領は、3日～5日キューバを訪問。ホセ・マルティ勲章の叙勲、ハバナ大学からの名誉博士号を受ける等した。

### **(2) モレノ次期大統領のコロンビア、ペルー訪問**

モレノ次期大統領は、8、9日で、コロンビアとペルーを訪問し、それぞれサントス大統領、クチンスキー大統領と会談を行った（エスピノサ次期外相及びアルバラド現観光相が同行。）。

ア サントス・コロンビア大統領との会談においては、モレノ次期大統領は、コロンビアの和平対話の構築に向け引き続き努力する意思を表明し、サントス大統領からは、和平交渉へのエクアドルの貢献が強調された。

イ クチンスキー・ペルー大統領との会談においては、汚職対策等の様々な分野における協力について意見交換を行った。

### **(3) ロング外務大臣のアンデス共同体議長国委譲式への出席**

9日、ロング外相は、リマで開催されたアンデス共同体（CAN）議長国委譲式に出席した。同式典にはエスピノサ次期外相も出席した。

### **(4) コロンビア和平対話のキト市での再開**

5月16日、コロンビア政府代表及び国民解放軍（ELN）とのエクアドルにおける対話第2ラウンドが開催された。コレア大統領、ロング外務大臣が出席の下、フアン・カミロ・レストレポ（コロンビア）政府側和平交渉団長及び（通称）パブロ・ベルトランELN側和平交渉団長が対話を行った。

(了)